

I 事業報告

1 事業概要

第四期の文化センター指定管理者最終年及び体育施設指定管理者3年目にあたる本年度は、新型コロナウイルス感染症による施設の貸出し停止や制限等による影響を受けながらも、関係団体等のガイドラインを遵守し、公益目的事業の適正な実施による公益の確保を図り、公益財団法人としての地位と役割を果たしました。

文化センターの利用状況及び使用料実績については、9月の緊急事態宣言における貸出し制限があった中、ほぼ全ての施設において前年度実績を上回りました。また、関係団体等のガイドラインを基本に、利用者が安全安心に利用できる施設環境を整え、文化芸術活動の場、発表の場として提供しました。(資料1)

体育施設の利用状況及び使用料実績については、関係団体等のガイドラインに基づき対応し、利用人員、使用料共に増加しました。また、いちご一会とちぎ国体リハーサル大会や、Bリーグ宇都宮 BREX のホームゲーム開催もあり、利用人員増加の要因となりました。(資料2)

芸術文化振興事業ホール事業等では、小中学生を対象にした「学校演劇鑑賞会」や市民の皆様と共に作り上げる「市民歌の集い」などが、新型コロナウイルス感染拡大の時期に重なり2年連続の中止となった他、複数のホール事業が中止となりました。開催できた事業は収容人員を制限した上での開催となりましたが、チケットが完売になった事業もあり、来場者には大変好評を博しました。

科学館事業ではプラネタリウム投映や、参加人数を制限した中で皆既月食や金星を観察する「ほしぞらのさんぽ」、親子を対象に体験型実験教室の「おもしろ実験教室」などを開催しました。また、プラネタリウムのロビーで鹿沼市文化課所蔵の昆虫標本を展示するなど、科学館事業の普及に務めました。

市民文化センター友の会への後援事業では、アマチュア落語家を迎えた「社会人落語特選会」や「総合工芸部会展」の開催に協力し、コロナ禍の中笑いや様々な工芸品に触れる機会となり、来場者から大変好評を博しました。(資料3)

体育振興事業では、「するスポーツ」として参加者が安全かつ安心に参加できるよう人数制限と感染予防環境を整え開催したエアロビクス、ヨガなど各種スポーツ教室や、主に高齢者に向けた運動指導、介護予防を行うカウンセリング、市内外より参加者が集う「平野早矢香杯卓球大会」や「ジュニアゴルフ大会」などを開催しました。また、「みるスポーツ」としてBCリーグ栃木ゴールデンブレーブスのホームゲーム開催に協力しました。さらに総合型を含む地域スポーツクラブ育成・支援、自宅で出来るレッスン動画の配信、他にも鹿沼市スポーツ協会事務を受託するなど、多彩な事業を実施しました。(資料4)

今後も公益財団法人として公益性を発揮し、鹿沼市教育ビジョン計画との連携を図りながら、引き続き指定管理者として市民の期待に応えられるよう一層努力していきます。